

祈！震災復興

被災建物の修復と、空き民家移住による生活再建を考える シンポジウムのお知らせ

東日本大震災から3ヶ月。私たちの愛する郷土が、住まいが、震災・津波・原発被害を受けて窮地にあります。深い傷を負いつつも、ここらへんでしっかり気持ちを切り替えていかねばならぬと決意し、罹災証明で「全壊」とされた家や、「危険」と判定された家でも、きちんと直せる可能性があるということ、

中越・能登などの過去の被災地に学びたいと思い、このたびシンポジウムを開催することにいたしました。

諦めずに頑張るために、不安や恐怖を少しでも和らげて、生活を再建するために、みんなで住まいの再建について考えてみませんか。



全壊判定されながら、修復によって甦った民家と地域の暮らし（新潟県中越地震）

『被災建物修復相談会および民家（空き家）再生による

住居困窮被災者への住まい提供の可能性を探る会』

1. 開催日時： 2011年7月9日（土曜日）

午前10時～12時30分 事例の紹介および日本古民家再生協会の提案

午後 1時30～5時 個別建物、所有者の相談、（現地相談も予定）

2. 開催場所： 田村郡小野町公民館

●尚、参加費、相談料は無料です。

参加人数は約100名を予定しています。

3. プログラム内容：危険・全壊という「言葉」に負けず、愛着の住まいに「修復」という選択を。

{午前の部} 10時~12時30分

① ”津波被災地、石巻市から”

講師：佐々木文彦氏（日本民家再生協会会員）

② ”新潟県中越地震～能登半島地震に学ぶ、被災家屋の修復”

講師：長谷川順一氏（日本民家再生協会会員）

「地域と暮らしを守るために、なぜ解体ではなく、修復なのか？」

③ 日本古民家再生協会会員からの提案

講師：篠崎良司氏（日本民家再生協会会員）

「被災地の中で、民家をどのように考えて活かすか」

{午後の部} 1時30分~5時

●個別ご相談：（ご希望者に対応）

家屋の写真や、図面（できればコピー）をお持ちいただくとより詳細な相談が可能です。お抱えの大工さんがおられる方は、ご一緒にお越しくださると、話もスムーズに進みます。なお当日だけで応じきれない場合も想定されます。その場合は日時を改めて、ご相談をさせていただきますことを予めご了承ください。

●古民家空き家の活用相談（持ち主の承諾を前提とします）

①持ち主：被災者への賃貸、譲渡を想定し、具体的な民家について相談。

修復費用の問題、修復の条件など。

②被災者：どこに住みたいか、家族構成と民家の規模、修復費用の概算

住み手負担の修復費用

4. 【展示】 阪神大震災、および新潟県中越地震での、実際の家屋修復事例の写真展示

「地震発生時より強く！」をめざした、耐震補強のしかたについて

その他：この相談会には 近隣市町村のご被災者、町内会、行政関係、地域支援団体の参加も歓迎です。

主催：特定非営利活動法人 日本民家再生協会

〒102-0085 東京都千代田区六番町1-1 TEL：03-5216-3541(代)

当日連絡：佐藤恭也 携帯 080-3471-9715

協力：社団法人日本曳家協会 千葉県市原市能満 2089-59 TEL.：0436-75-7781

社団法人福島県建築士会 郡山支部女性委員会

後援：福島県・田村郡小野町（後援依頼中）